

年表

History

昭和32年	4月	1957	国立学校設置法の一部改正により、 医学部附属脳外科研究施設設置 神経生理学部門を設置
	33年 4月	1958	形態学部門を設置
	36年 4月	1961	神経化学部門を設置
	37年 4月	1962	脳神経外科学部門を設置
	38年 4月	1963	医学部附属病院の診療科に脳神経外科を設置
	39年 4月	1964	神経内科学部門を設置
	40年 4月	1965	医学部附属病院の診療科に神経内科を設置
	42年 6月	1967	国立学校設置法の一部改正により 医学部附属脳外科研究施設が大学に附置され、脳研究所となる
	42年 8月	1967	事務部を設置、形態学部門を神経病理学部門と改称
	44年 6月	1969	事務部を庶務と会計の2係に分離
	45年 4月	1970	神経薬理学部門を設置
	46年 4月	1971	附属脳疾患標本センターを設置
	48年 4月	1973	実験神経病理学部門を設置
	51年 3月	1976	新研究棟(3,467㎡)が竣工
	51年 5月	1976	脳研究所放射性同位元素研究室を設置
	52年 3月	1977	脳疾患標本センター(531㎡)が竣工
	59年 4月	1984	神経生物学(客員)部門を設置
	61年 3月	1986	研究棟の増築(1,018㎡特殊動物実験室など)が竣工
平成	6年 4月	1994	神経生物学(客員)部門を廃止
	6年 6月	1994	発生神経生物学(客員)部門を設置
	7年 4月	1995	研究部門の大部門化により、基礎神経科学部門(分子神経生物学、細胞神経生物学、システム脳生理学及び発生神経生物学(客員)の4分野)、病態神経科学部門(病理学及び分子神経病理学の2分野)及び臨床神経科学部門(脳神経外科学及び神経内科学の2分野)の3大部門に、また、脳疾患標本センターを脳疾患解析センターに改組転換
	8年 3月	1996	超高磁場磁気共鳴研究棟(251㎡)が竣工
	11年 9月	1999	超高磁場磁気共鳴研究棟の増築(149㎡)が竣工
	14年 4月	2002	脳疾患解析センターを統合脳機能研究センター及び生命科学リソース研究センター(新潟大学遺伝子実験施設と医学部附属動物実験施設を統合)に改組転換
	15年 3月	2003	統合脳機能研究センター棟(3,969㎡)が竣工
	18年 4月	2006	生命科学リソース研究センターの3部門をバイオリソース研究部門及び脳科学リソース研究部門に統合改組し、脳科学リソース研究部門にプロジェクト研究分野を新設 病態神経科学部門分子神経病理学分野をデジタル病理学分野に、統合脳機能研究センター生体情報学分野をデジタル医学分野にそれぞれ改組
	18年 4月	2006	統合脳機能研究センターPET棟(416㎡)が完成
	19年10月	2007	脳研究所創立50周年記念祝賀会を挙行
	20年12月	2008	生命科学リソース研究センターの増築(200㎡)が竣工
	21年 6月	2009	文部科学省の共同利用・共同研究拠点に認定
	22年 1月	2010	脳研究所A棟・B棟の耐震工事が竣工
	22年 4月	2010	事務部に共同利用・共同研究拠点の活動全般を支援する共同利用係を設置
	23年 4月	2011	発生神経生物学(客員)分野を廃止、病態神経科学部門に分子病態学(客員)分野を設置
	24年12月	2012	脳研究所C棟の耐震工事が竣工
	25年 7月	2013	動物実験施設の耐震工事が竣工
	28年 1月	2016	文部科学省の共同利用・共同研究拠点制度の認定更新
	28年 4月	2016	共同利用・共同研究拠点名を「脳神経病理資源活用の疾患病態共同研究拠点」と変更
	29年 5月	2017	生命科学リソース研究センター脳科学リソース研究部門のプロジェクト研究分野を廃止し、システム脳病態学分野を新設 生命科学リソース研究センター脳科学リソース研究部門にトランスレーショナル研究分野を新設
	30年 4月	2018	基礎神経科学部門の細胞神経生物学分野を廃止し、細胞病態学分野を新設 生命科学リソース研究センターバイオリソース研究部門にモデル動物開発分野を新設
令和	2年 4月	2020	基礎神経科学部門のシステム脳生理学分野を廃止し、腫瘍病態学分野を新設 システム脳病態学分野を生命科学リソース研究センター脳科学リソース研究部門から基礎神経科学部門に、脳病態解析分野を研究推進機構超域学術院から生命科学リソース研究センター脳科学リソース研究部門にそれぞれ改組